

令和 7 年豊能町議会 第 9 回
スマートシティ特別委員会

会 議 録

令和 7 年 3 月 17 日（月）

豊 能 町 議 会

令和7年豊能町議会 第9回 スマートシティ特別委員会

年 月 日 令和7年3月17日（月）

場 所 豊能町役場 大会議室

出席委員 5名

秋元美智子 永谷 幸弘 吉田 正子
寺脇 直子 管野英美子

欠席委員 なし

委員外出席 永並 啓（議長） 中川 敦司（副議長）

本委員会に説明のため出席した者は、次のとおりである。

町 長	上 浦 登	副 町 長	高 木 仁
教 育 長	板 倉 忠	政 策 監	大 西 隆 樹
総 務 部 長	入 江 太 志	総 務 部 理 事	浅 海 毅
生活福祉部長	小 森 進	都市建設部長	坂 田 朗 夫
都市建設部理事	大 利 元 樹	こども未来部長	仙 波 英 太 朗
都市建設部次長	田 中 克 生	総合政策課長	山 内 拓
総 務 課 長	田 中 久 志	都市計画課長	吉 澤 亘

本委員会に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長 浜本 正義 書 記 平 田 旬

本日の会議に付された案件は次のとおりである。

1．スマートシティ事業の実績と今後の取組について

2．その他

午前9時30分 開会

○委員長（秋元美智子君）

皆さんおはようございます。

先週かな、とても暖かい日があって、急にまた寒くなって、今日どうかなと思ったら川尻上がる道路が3℃、高山が2℃。それを見て寒いなと思いました。

家にいるときはそれほど思っていなかったんですけど、その温度計を見て何かまた振り返ってきたなと改めて思いましたけども、お互い気をつけて花粉の時期でもありますので、お互い体に気をつけて前に進んでいきたいと思いますが、よろしく願いいたします。

では座らせていただきます。

ただいまの出席委員は5名であります。

定足数に達しておりますので、第9回スマートシティ特別委員会を開会いたします。

委員会の開会に当たりまして、町長より一言お願いいたします。

上浦町長。

○町長（上浦 登君）

はい、皆様おはようございます。

本日はお忙しい中御参集をいただきまして誠にありがとうございます。

本町のスマートシティ事業でございますが、これまで議会の皆様の御協力もいただきまして、今年度まで3年にわたってのK P Iの取組を進めさせていただきました。

本日はそれを受けまして、次第のとおりでございますが、スマートシティ事業の実績と今後の取組につきまして協議させていただくことになってございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

ありがとうございます。

皆様のほうに資料、開いてますかしら。

はい。これ前回委員会に当たりまして、副委員長と私のほうで、スマートシティそのものが何だったのかっていうのがこの委員会の始まりだったことと、また3年間のK P I、そういった流れを一つにまとめていただきたいということで、行政の方をお願いしたところです。

大変な作業だったと思いますけど、ありがとうございます。

ではこの資料をもとに、まず皆様のほうから意見なり疑問なり質問がありましたらお受けしたいと思いますので。今日見る方々が大半だと思いますので、ゆっくり時間をかけていただきたいと思いますのですが、手を挙げてらっしゃいますので、説明を先にお願いいたします。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

おはようございます。総合政策課、山内です。よろしくお願いいたします。

それでは、令和4年度から実施しておりますスマートシティ事業の実績につきまして、御説明させていただきます。

SideBooks内の豊能町議会、スマートシティ特別委員会のR 7、3月17日フォルダ内のスマシ事業一覧、R 4からR 6の資料を御覧ください。

○委員長（秋元美智子君）

どうぞ、座って説明をお願いします。

○総合政策課長（山内 拓君）

それでは座って説明させていただきます。

令和4年度から実施しておりますスマートシティ事業の実績一覧となっております。

左から事業区分と主な内容、あとR 4年の実績、R 5年の実績、R 6年は実績中ということで契約の委託料の金額を表示させていただいております。

続いて概要というところ、K P Iの内容

を示させていただいております。

K P I に対しての R 4 の実績、R 5 の実績、R 6 は計画値として表示させていただいております。最後に一番右の欄、列には今後の予定を記載させていただいております。

委託料、令和 4 年度の実績の合計額としては、表の一番下のところの黄色いところでセルを色分けしております。合計のところに表示をさせていただいております。

R 4 の実績としまして 3 億 9,036 万 2,000 円。R 5 の実績としまして 1,647 万円。R 6 は年度途中でございますけれども今のところ 1,224 万 8,000 円となりましてそれぞれの年度の事業費を表示させていただいております。

続いて概要に対する、R 4、令和 4 年度実績、令和 5 年度実績、令和 6 年度計画値の御説明をさせていただきます。

表の中ほどの概要の欄を御覧ください。

データ連携基盤の概要としましては、とよのんコンシェルジュのダウンロード数ということで、令和 4 年度実績が 2,800 件、令和 5 年度実績が 3,878 件、令和 6 年計画値としまして 8,000 件となっております。

続きまして見守り事業につきましては、見守りタグ配布済台数としまして、令和 4 年度実績 1 台、令和 5 年度実績 73 台、令和 6 年度計画値 250 台となっております。

受信機数につきましては、令和 4 年度 25 台、令和 5 年度 78 台、令和 6 年度計画値としまして 80 台となっております。

次にヘルスケア事業につきましては、テレビプッシュ端末配布済台数、令和 4 年度 131 台、令和 5 年度実績 131 台、令和 6 年度計画値で 131 台と同数となっております。

ウェアラブル端末配布済台数につきましては、令和 4 年度実績 191 台、令和 5 年度実績 253 台、令和 6 年度計画値 300 台となっております。

1 日の平均歩数の増加としまして、令和

4 年実績が 1,000 歩以上増加、令和 5 年の実績が 1,500 歩以上増加、令和 6 年度計画値としまして 2,000 歩以上増加となっております。

通いの場のチェックイン数の増加としまして、令和 4 年度実績が 205 回、令和 5 年度実績が 375 回、令和 6 年度計画値が 3,000 回となっております。

続いて子育て事業の概要としまして、I T 就労支援サービス平均利用者数、こちらの事業ができておりませんで、令和 4 年度実績、令和 5 年度実績、令和 6 年度計画値はバーと表示させていただいております。

デジタル事業につきましては、スマホ教室平均利用者数としまして、令和 4 年度実績が 105 人、令和 5 年度実績が 300 人、令和 6 年計画値が 140 人となっております。

P T A 回覧版サービス平均利用者数としまして、令和 4 年度実績、令和 5 年度実績、令和 6 年の計画値もこちら事業できておりませんのでバーの表示でさせていただいております。

続いて地域経済としまして、とよのんウォレット月単位の平均利用者数、令和 4 年度実績が 215 人となっており、令和 5 年度実績、令和 6 年度計画値は、事業できておりませんのでバーの表示をさせていただいております。

インフラ事業につきましては、公園の利用者数の平均利用者数になります。令和 4 年の実績が数値とれておりませんのでバーの表示になっておりまして、あそこ令和 5 年度実績 1,373 人と表示しておるんですけれども、修正をお願いしたいんですが、458 人が正しい数字になります。1,373 人の数字を 458 で修正をお願いいたします。

令和 6 年度計画値としまして 600 人となっております。

デジタル行政としまして、職員のデータ入力作業時間効率化ということで、令和 4 年度実績がバーとなっております。令和 5 年

の実績が20%、令和6年度計画値が30%となっております。

モビリティ事業としまして、アプリのダウンロード数としまして、令和4年度実績2,000回、令和5年度実績1,089回、令和6年度計画値が300回となっております。

日単位の平均利用者数としまして、令和4年度実績が115人、令和5年度実績が26人、令和6年度計画値が40人となっております。

最後に今後の予定としまして、一番表の一番右の欄、列を御覧ください。

今年度、令和6年度に事業を行っております見守り事業、ヘルスケア事業とモビリティ事業につきまして、今後の予定としまして、それぞれ記載させていただいております。

見守り事業の見守りタグの配布につきましては、令和7年度当初予算に88万円を提出させていただいております、引き続き見守り事業を行っていく予定をしております。

ヘルスケア事業につきましては、テレビプッシュにつきましてはアンケート調査を行い、アンケート調査の結果を踏まえ、事業の継続、新たな事業展開の判断を行ってまいりたいと考えております。

モビリティ事業のA I オンデマンドバスにつきましては、3月末まで行っております実証運行の結果を踏まえ、夏頃までに今後の方向性、事業内容などの判断を行ってまいりたいと考えております。

以上が令和4年度から実施しておりますスマートシティ事業の実績報告と今後の事業の予定の御説明となります。

よろしくお願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

ありがとうございます。

今、説明いただいて、何か疑問。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

おはようございます。管野です。

最初に、とよのんコンシェルジュのダウンロード数、令和6年度8,000件とありますが、これはお金をかけなくても令和4年度に設置したから、いつでも使えるということですね。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

管野委員おっしゃるとおり、とよのんコンシェルジュは、今も使えるようになっております。ただ事業のデータ連携をしておりますので、使えるところが限られているんですけれども、もし、とよのんコンシェルジュを使って何かするとなると新たな費用としてデータ連携の費用が発生してくるということにはなるんですけれども、今あるままであれば費用発生しないということで確認とれております。以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

例えばコープやカナートさんのお買物はそのまま行けるし、豊能町のホームページを見るのにスマホで見るのに、ツープッシュで見れるわけですよね、一々検索画面で豊能町と書かなくても。これから先もずっと今これ、令和6年度お金入れてませんけど、これから先もずっと置いてけるっていう形なんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

今のところ、とよのんコンシェルジュは7年度4月1日からやめるとかっていうことはないので、今は今と同じ状態をしばらくは続くことになると思います。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

このスマシ事業をやめるとなったときにはもうこれは使えないってということですか。

町の姿勢を問いたいんです。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

今のところ、とよのんコンシェルジュを使って何か事業するというところは具体的には考えてないんですけれども、今後何かしていくときにこのとよのんコンシェルジュのアプリ使って何か事業展開するとなると、これを利用するのかなと思っておるんですが、ただ具体的にこれからどうするっていうところちょっと決まっていない状態です。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

次の質問ですけれど、ヘルスケアで配布と書いてありますけれど、配布するのが目的なんでしょうか。私は使うのが目的だと思うんですけど。いろんなおうちへ訪ねていってもテレビプッシュの電源抜いてはる人もようさんいてはるんですけど。

これは、配布することだけの実績なんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

今回表に示させていただいておりますのはちょっと、どういう状況でテレビプッシュ設置されているのかということで台数表示したほうがわかりやすいかなというところもあって、131台という表示をさせていただきましたが、今後の利用としましてはアンケート

調査を行って、費用が必要なのかどうかっていうところとか費用負担を町でするのか、個人の利用者にしてもらうのかとか、あと町政運営方針か何かのときにも難聴の方とかにも使っていくというようなお話もさせていただきましたので、そういった事業も考えながらどうしていくかというのを今後考えていきたいと思います。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

町として配布したらいいっていう、こういう実績値ですね。

テレビプッシュの電源を抜いてる人が何人とか、ウェアラブルをもう、どっか行っちゃったっていう人もたくさんいるんですけど、ただ配布するのが目的ですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

この今後の展開のところにもちょっと書かせていただいておりますけれども、利用者のアンケート調査をとらせていただいて実際にどんなところで使っているのかとか、どんなことがあったら便利かっていうようなところもちょっとアンケートをとって、その利用者の方がもう必要ないということであれば、今のところはテレビプッシュを今後どうしていくのかなっていうところにはなるのかなと思うんですけども。今のところ131台配布させていただいた方の利用状況とか、そういったところをこういったところ便利だったとか、こういったところちょっと不具合があったとかっていうところもちょっと踏まえて今後の展開を考えていきたいと思います。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

スマートシティ事業っていうのを配布するのが目的じゃなくって、この機器を使って、例えば健康増進を図るとか、そういうのが目的だったと思うんですけど、何かこれを見てると配布したら終わりみたいな、それで実績、配布が実績。

使って実績だという考えではないんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

今、昨年度までちょっとアンケートをとらせていただいた中には、日常的に利用されていますかとかっていうアンケート内容にもありまして、カレンダーであるとかごみの収集であるとかそういったお知らせどうでしたかというような内容も網羅してますので、そういったところで実際に設置した方に対して、どういう利用状況をしているのかっていうところを確認しましてそれを広げていくのか、もう費用がかかるのであれば、費用対効果も考えてどうしていくのかっていうのを考えないといけないと思いますし、今後防災の関係とかでも、横浜市とかでも展開されているようなこともありますので、そういったことも参考に、テレビプッシュの需要を考えていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

あんまり理解できないんで。

子育てのことなんですけども、実績がない中でも、このスマホの中で、子育て、お試しの2講座か何かできるんですよ。

なぜ、予算化はされていませんけれども、

計画値もなかったんでしょうか。

○委員長（秋元美智子君）

これ使えましたよね、そのまま。

ちょっとそういう認識だったんですけども。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

東ときわ台のリビングラボのところにパソコンが置いてあって、それを使って研修とか学習ができるというふうには聞いております。

それがちょっと、4年度、5年度どうされたのかちょっと承知してないところあるんですけども、6年度についてはちょっと、何も事業ができてない、お知らせもできてないし何も事業ができていないというような現状となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

今、とよのんコンシェルジュ見てるんですけど、スクール実行っていうそこ押したら2か月間無償でできるっていうことで、アドレス登録をしてっていうことで、自宅でもできるわけですね。

それで計画値がゼロっていうかあまり期待できないのかなと思うんですけど。

実績がゼロやから計画もゼロにしておいたということですか。

○委員長（秋元美智子君）

まずこの部分は継続していくんだろугかずっと。

スマホからは、コンシェルジュからは入れる、私はちょっと確認してませんけども。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

コンシェルジュで今後ちょっと使えるのかっていうところはちょっと業者に確認させていただいて、7年4月からもう使えないのか、コンシェルジュがある間使えるのかということちょっと確認したいなと思います。

ここの国に対してのK P I なんですけども、一応令和4年度が10件、令和5年度が15件、令和6年度が20件、利用があるというような形でK P I は国には報告している数値となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

いいですか。

ほか。ほかの方いらっしゃいますか。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

一番下の段のモビリティなんですけれども、アプリのダウンロード数が300というのは1回目、2回目、3回目、トータルじゃなくて、今年度たった1か月の間に300の新規ダウンロード者ということですか。

○委員長（秋元美智子君）

山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

こちらのアプリのダウンロード、S W A Tのアプリになります。

こちらのほうは令和5年度、令和6年度、実証運転させていただいておりますけれども、今5年度までにアプリダウンロードした方にはそのまま利用できる状態にはなってますので、一応年度ごとで、今年度については1か月の間なんですけれども300の方がダウンロードしていただくような形の数値となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

私も前、持ってたんで、連携できてないけどできました。

新規に300人、ダウンロードするっていう形なんですか。

○委員長（秋元美智子君）

山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

新規にダウンロードされた方の数値となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

ほか、いらっしゃいますか。この表の中で、ありますか。

このまま使えるもの、モビリティは使えるって話でしたね。

子育てに関してはそのまま使えるかを確認するというので。ほかは何かこの中で、町として、この事業があっても使えるものって使えるものって変な言い方ですね。スマートシティ事業の何かしら、効果というのかな、ありますか。

私はデジタル行政とても興味ある。効果があったと思いますんでそのシステムはそのまま使えるのかしら。立ち切れになるのかしら。

そういったところはもしわかるようでしたら、上から順番にでもお願いいたします。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

上からいきます。

とよのんコンシェルジュは今のところずっと置いたままで費用なく使えるというふうには聞いております。

あと見守りタグも来年度、今88万予算提出させていただいておりますので、これで事業を続けていくことになると思います。

テレビプッシュにつきましてもアンケー

ト調査ちょっとまだできておらないんですけどもそれをして、使っていくか継続していくかどうかどうしようかどうするかというような判定になると思います。

I T就労支援サービスは先ほど管野委員からお話いただいたように、7年度以降もそのとよのんコンシェルジュの中で使えるのかどうかというのを確認させていただきたいと思います。

スマート教室の利用者数はこちらはちょっと費用ついていない中、業者のほうからお声かけいただいて、H o n k i さんとかかで、今年度も事業させていただいておりますのでそういったものを利用して、町の負担ではなく事業者の負担で何かできないかを考えていきたいと思います。

あとP T Aの回覧はちょっと事業自体はできていないので、これはこのままになるかなと思います。

とよのんウォレットにつきましてもちょっと費用のほうかかってくるので、今ちょっと7年度以降はこのままちょっと利用しないというか、事業展開は難しいかなと考えております。

公園の利用者数につきましても、今は、光風台の公園の利用者数のことなんですけれども、公園のイベント等をしてもらってますのでそういったところで公園の利用者数の確保というか、事業展開はできるのかなと考えております。

あと職員のデータ入力作業時間につきましては、ちょっと、5年度についてはそのソフト等を入れて事業できておったんですけども、こちらのほう事業、2か年か3か年で利用の権利がなくなりまして、それを更新するとなると費用が発生するので、今のところこの6年度で終了になるかなと思っております。

あとモビリティにつきましてはアプリに

なりますので、こちらもA I オンデマンドバス実証運行の結果を踏まえて、A I のオンデマンドをするのか違う交通形態にするのかということも含めて、検討していくようなことになるかなと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、ありがとうございます。

もう一つ申し訳ない、公園ってのは何かW i - F i 設備か何かつくりませんでした。

W i - F i のあれは使えるのかな。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

光風台中央公園のカメラにつきましてちょっと費用がついておりませんので、今は使えない状態でカメラは設置はされておるんですけども使えてない状態となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

使うには費用がかかるということですね。

あとW i - F i も聞いたんだけど。

はい、お願いします。

吉澤課長。

○都市計画課長（吉澤 亘君）

都市計画課、吉澤でございます。

W i - F i のほうは、現状も使えるような状況になってまして、イベントのときにその部分を活用してやっただいてるところです。

○委員長（秋元美智子君）

質問は、豊能町の財産として今後も使えるかどうかのところですが。

暫時休憩いたします。

（午前9時56分 休憩）

（午前9時57分 再開）

○委員長（秋元美智子君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

はい、よろしくお願いします。

吉澤課長。

○都市計画課長（吉澤 亘君）

都市計画課、吉澤です。

すいません。光風台2丁目中央公園のW i - F i の件ですが、先ほど発言しましたがちょっと訂正のほうをさせていただきます。

現状通信費につきましては、設置した業者さんが賄っておりまして、現状も今、賄っていただいておりますので、利用できるような状況です。

いつそれが切れるかっていうのは、特にこちらの方、聞いておりませんので、また確認をさせていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

すいません、今の通信費は業者がというのはA n d e c o さんが負担されてるんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、吉澤課長。

○都市計画課長（吉澤 亘君）

都市計画課、吉澤です。

はい、当初設置しましたA n d e c o さんのほうで費用の負担をしていただいております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

ほか、質問ございますでしょうか。

はい、議長どうぞ。

永並議長。

○議長（永並 啓君）

すいません、テレビプッシュとか住民にアンケートをとらないとわからない。事業者はどういう情報を発信してどういうのに多くアクセスしたかっていうのは把握されてるんですよね。それがK P I の中で出てくるという認識でいいですか。

いろんなテレビプッシュでいろんな防災だったりいろんな情報出しますよね。

そしたら、住民さんが利用している人は、この情報のとき見たよとかそういうのは、双方向の通信でわかってるという理解でいいですか。

だから、今はわからないけどK P I をとる段階にはこういう情報にアクセスが多かったこういう情報が少なかったとかそういうところはわかるという理解でいいですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

このテレビプッシュをしている事業者と話をさせていただいたときも繋がってる繋がってないっていうところがわかるようなんですけれども、何をメニューを見に行ってるってところまではちょっと把握ができてないようでして、最近まで毎日見てはったのが急に通信が切れて見れなくなったっていうような把握はできているというのは聞いております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

今の時代ね、ホームページで何を検索したかによってその人の趣味趣向がわかってそれに関する広告がどんどん来るような中で、いっぱい情報を送ってどの情報を見ているかすらもわからないというのはなかなかの事業です。もう本当にこちらアンケートでヒアリングをして、どれが関心があったかそれを残していくというような作業になるということですね。

あと1点聞きたいのは、先ほど委員長からも出てましたけど今後何が使えらかっていった場合に、今は使えるけど、全てシステム

絡みですよ。システム絡みのものが、常にいろんなシステムがメンテナンスがあって更新費用があって当然ウイルス対策とかそういうのも、常にお金、システムかかっていきますよね。

そういった中で今使えたとしても、すぐ使えなくなる、なりますよね。そしたら残してる意味はないですよ。

数年間は今の現状だったら使えるけどちょっとこうOSが変わったりとか、新たな脅威がウイルスの新たなものが出てきたらそれに対応するためには変更しないといけないとか、そういった状況になるから、別に持ってたところで全て使えないという理解になるんじゃないかなと思うんですけど、そこはいかがですか。

とりあえず今作業がそのままの状態で使えるということですよ。将来的にっていうかもうすぐには使えないということでいいですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

議長おっしゃるように今、スマートシティ事業として令和4年度から取り組んだのは、事業者も出来上がったもののシステムを豊能町にっていうのではなくて、豊能町フィールドにこういった事業展開を今後していくのにフィールドとして使わせてもらえませんかというようなところが始まりかなと思っておりますので、実際に市場に出るようなものになるとちゃんとしたシステムであったり、事業展開というのが企業のほうでされてから、やられるものだと思いますので、このまま使うとなると、今の2年後3年後だったり、おっしゃるようにソフトの入替のときとか、また全然違うような事業展開というかもっと便利になってたりするようなこともあるかもしれ

ませんし、費用の問題もあるかと思うので、そこはこのまま事業をどうするかっていうところでまた考えていけたらなと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

いかがですか。

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

だから事業を続けられないやつはどれも使えないということですよ。

○委員長（秋元美智子君）

今のは答弁いただけるものなのかしら。

どんなものでしょうか。

それとも今後の検討課題でおきましようか。

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

令和4年度からこのスマートシティ事業に取り組んで3年間KPIとってくるということで今まで進めてまいりました。

今後の展開につきましては先ほど議長おっしゃってられるようにこれシステムが我々費用がなければ更新がなかなか難しいというものもございます。

見守りであったりヘルスケアであったり、テレビプッシュのことですけれども、こういったものについてはもともとその企業側で構築されたものを我々のほうにカスタマイズしていただいてこれまで利用させていただいてきたということがございます。そういう形で、それでこれから予算を今お認めいただくかどうかというところでこれから予算を上げていくといったところのものもございますので、そういったものについてはこれから我々、何らかの展開はさせていただきたいなというふうに思いますが、当然予算がないと、いずれ消えていくっていうんですかね、今の時代に合わないようになっていくっていうものもご

ございますので、そういったものについての見極めは費用対効果というのもございますので、しっかりさしていただいたうえで判断していきたいというふうに思いますが、今のところなかなか現状では、将来に渡ってこのまま使い続けるというのは難しいのではないかと思います。

もう一点、先ほど議長のほうから御質問いただきましたテレビプッシュの利用方法、どういふことで利用されてますかということにつきましてはこちらで改めてちょっと確認させていただいたうえでまた答弁させていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

テレビプッシュ、今おっしゃった最後の確認というのはどの部分。使ってるか使っていないからって中身ですね。

はい、よろしくお願いいたします。

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

すいません。これ令和5年度でしたかね、テレビプッシュをやるかどうかという判断をさせていただくときに、何らかはこちらのほうで、こういうことでやってらっしゃるので、今後こういう形にさせてほしいというようなお答えをさせていただいておったかというふうに理解しておりますので、ちょっとその確認をさせていただきたいということでございますので、すぐにお答えできるかと思います。

よろしくお願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

ほかにございますでしょうか。

はい、どうぞ。永谷副委員長。

○副委員長（永谷幸弘君）

おはようございます。永谷です。

大した質問じゃないんですけど、先ほどインフラ公園ですね、その中で、令和5年度の実績がここでは1,373になっておりまして、

訂正で458に変わっている、ちょうど3分の1になってるんですけどね。

ただ単に移し間違えなのか。ちょっとその辺のところをちょっと再度聞きたいと思います。

○委員長（秋元美智子君）

はい、お願いいたします。

山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

私の資料作成するときにちょっと原課との確認がとれてなかったところを記載させていただいたので、間違ったところの資料で申し訳ございません、修正お願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

はい。

○副委員長（永谷幸弘君）

これも確認ですけれども、先ほどモビリティのですね令和6年度、これ計画値ってなってるんですけど何か聞いてたら実績という形で聞いたんですけどね。

一日40人となってこれは計画値なのか、今始まっておりますけども実績値なのか、その点について再度確認します。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

令和6年度の計画値として一日当たり40人ということになっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

今のモビリティのことなんですけど、これは1か月でやろうと思ったのか、計画段階で。どのような形でやろうと思ったんですか。

○委員長（秋元美智子君）

今回1か月だけでも、計画値のところ。

お答えどなたにお願いしたらいいのかな。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

当初A I オンデマンドバスにつきましては阪急バスと京都交通と協議している中で、ちょっと本来であれば秋口ぐらいからやりたかったところが、ちょっと協議も整わなかったので、今回、許可を取ったり準備作業に2か月3か月ほどかかりますので、こういった3月の1か月っていうことの実証実験になったということでございます。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

わざわざ26人を40人にするっていう形なんで、最初から1か月ではないのはわかってるんですけども、何かイベントをしたりしてやろうとしていたのか、そこです。

その計画段階で26人を40にするような計画を立ててたんじゃないんですか。1か月じゃなくて。

○委員長（秋元美智子君）

増やす働きかけね。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

計画値なんですけれども、令和4年度の事業をするときに、令和4年、令和5年、令和6年の計画値を設定しますので、令和4年のときにこういった一日当たり40人っていうようなだんだん増えていくというか、利用してもらおうというような形のK P Iを最初に設定された数値かなと思っております。

それを利用するためのイベントをすることになっていくところまでそのときに考えてはったのかどうかちょっと私はちょっとわからないんですけども、一応この令和6年の計画

値入れさせていただいておりますのは、令和4年度に事業をするときに国に報告しているK P Iの数値をもとに入れさせていただいておりますので、現状とちょっと変わってきているところがあるかなと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

確認します。

年々こういうふうに次はっていうんじゃないで、出だしのときから3年後はこうなります、しますという計画値ってことですねこれ。

わかりました。だけどその前の二つは実績ですね。実績が入ってるってことですね。

よろしいですかそれで。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

R 4 実績、R 5 実績は国のほうに報告させていただいてる数値をそのまま入れております。R 6 の計画値につきましては令和4年度当初事業するときに設定した数値となっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

そういうことです。

はい、吉田委員。

○委員（吉田正子君）

先ほど26人。これ令和5年度の実績が26人と言ってるけども、最初に4年にもう決めてしまったので、40名を計画値としたわけですね。

普通やったら、26やったから今度はちょっと下げてということにはならなかったんじゃないかな。

○委員長（秋元美智子君）

これは変えられないもんだね。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

この令和6年の計画値を令和6年度の事業に見合った数値、目標値としてはどうかということだと思うんですけども、こちら表で入れさせていただく段階では令和4年度国に報告してるK P Iをとらないというところもありましたので、その令和6年度計画値どうなっているかというところで、この表、作成で示させていただいております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

ということは今回はこの1か月間で一日何人にしようという計画はないのかな。という理解でよろしいですか。

まあね、結果だから検証だからね、それはまだ出てませんってのはわかりますけども。

そう理解させてもらいます。

はい、ほかございますでしょうか。

ほかなければ、次の資料に入りたいですが。

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

先ほどのテレビプッシュの件なんですけど、ちょっと私の勘違い思い過ごしでございました。

こちらのほうからデータが何か先ほど議長がおっしゃったようにYahooのように検索したから自動的にっていうわけじゃございませんでして、私が前回御説明したのはアンケートの結果に基づくものでございまして、そのときに、どういう情報をよく御覧なられましたかっていうのであったり満足度であったり、災害時の情報の取得手段は何ですか、こういったことをいろいろ項目ごとにお聞きしたものでございます。

ちなみに防災情報というのは、約半分の方が御利用なさっておられたといったことがございました。

以上でございます。

○委員長（秋元美智子君）

よろしいですか。はい。

この資料に関しまして後半、今後どうなるかっていうとこだけ調べてください。

子育てのが使えるのかどうかとか、費用が必要なのかどうか。使うんだったら費用は必要ない幾らだとか。

そういったことも、後でまた、後日報告いただきたいと思います。

ほか、よろしいですかこれで。

この表に関しましては。はい。

次に、隣のルーターの設置場所。それとその次に、2枚の資料があります。

この説明をお願いいたします。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

令和7年度当初予算の特別委員会のときに、ルーターの設置場所等を地図で示してほしいということで作らせていただいた資料になります。

先ほどのSideBooksのフォルダの中にルーター設置一覧とルーター設置予定箇所とございますので、その資料を御覧ください。

座って説明させていただきます。

ルーター設置一覧につきましては現在80台の検知器を設置しております。こちらのほう各小学校区のほうに分けて示させていただいております。

あともう一つのほうの資料、見守りルーターの新規設置予定箇所になります。otta見守りルーター配置予定図となっております。

上のほうが一番上が西地区の地図になっておりまして、5箇所を予定しております。

新光風台の自治会館から一庫ダムに抜けるところの道路上に、S字カーブのところになるのかちょっとまだ詳しい場所未定ですけどもそちらのほうに1箇所と、あと477号から能勢町、川西市に抜けるところの町境の

ところに設置する予定と、あと真ん中のほうの図につきましては東地区の図になりまして、切畑のほうから茨木のほうに抜ける道のところに1箇所、あと希望ヶ丘のほうから茨木市のほうに抜けるところに1箇所と、あと一番下の図につきましては野間口のところの妙見のほうですね、能勢町のほうに抜ける道路上に1箇所というところで合計5箇所、今のところ予定をしております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、ありがとうございます。

この資料についての質問、受けたいと思います。

はい、吉田委員。

○委員（吉田正子君）

お聞きします。光風台小学校のところ辺なんですけど、大和と光風台の間のところのほうはどこのどこに、あそこら辺に行ってしまうことがあるんですけども、これだったらどれに当たるんでしょうか。

大和との境、歩いて行けますでしょ。あそこはなかったんでしょうか。

○委員長（秋元美智子君）

場所はわかりますよね。

はい、山内課長

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

この一覧、80箇所の一覧にはちょっと表示ができておりませんで、こちらのほうは車等で新規で設置するときは車等での連れ去りをちょっと想定しておりましたので、歩いてっていうところまではちょっと想定をしてなかったもので、今のところ光風台の小学校区のところ、そこの抜ける道のところについては設置ができていない状況になっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

私のほうから質問なんですけど、この80

台という数はどこから出てきた数ですか。

こう見ても、例えば光風台だったら、イブミヤのすぐ隣の光風台自治会館だったらあまりにも近過ぎるしね。今言った吉田委員が言った場所ってのはちょっと必要かなと思ってるけどない。

もともと戻ってこの80台、この狭い、狭いって変な言い方ですけど、80台っていうその想定した数というのは、これは町じゃなくて、もともと請け負った関係のところから出てきてるのかな。

町が出した数じゃないかどうかです。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

先ほどのK P Iのところにもなるかなと思うんですけれども、毎年何台か設置していきますというようなK P Iを設置しております。

ここの80箇所になった数とか設置している場所についてはちょっと、なぜここになったのかっていうところまではわからないんですが、検知器を設置するときにはコンセントを挿してもらって、検知器のデータというかBluetoothの電波が行くような範囲になりますので、通学路のところで、そういった協力していただけるような事業所とか公共施設に対して、依頼をしまして設置していただいているっていうところでこういった箇所になったのかなと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

あまりにも近すぎるのは、無理やり付けたような感じがするし。そういったところの引継ぎ事項はないんですね。

ないということですね。はい。

ないですね。はい。

ほかございますでしょうか、この件に関して。

はい、永谷副委員長。

○副委員長（永谷幸弘君）

永谷です。

確認ですけれども、令和8年4月から義務教育学校が開校するんですけれども、それに伴ってここでは光風台小学校とか吉川小学校、東能勢小学校が公共施設再編云々で変わると言うんですけれども、これずっともうそのままの状態で、存置するという事でよろしいんでしょうか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

今のところこういった今80箇所付けてるルーターはそのまま利用するような予定で考えております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

ほかございますか。

ルーターの電気代って大したことないのかな。大したことないね、きっと。

はい、お願いします。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

事業所のほうからコンセント挿したルーターについては月当たり数十円というような形で聞いております。1か月数十円というふうに聞いております。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

今までは豊能町の安全の面から見守りの体制であったりとか高齢者の徘徊を予防するためのそういったマップなりは作ってなかったんですけれど、こういうのを始めたことをきっかけに、どういうところにどういうリスクがあるかとか、そういうようなマップなんかを作ったうえで、こういうのを見直すってい

う計画はあるんでしょうか。

○委員長（秋元美智子君）

今後ですね、はい。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

この見守りの事業を行うときに御意見いただいておりますのが、豊能町内でタグのほうが普及できないのはやっぱり安全な町っていうところがあって、保護者もそんなに必要としてないんじゃないかっていうような御意見をいただいております。

豊能町で今必要なのは豊能町外から連れ去られたときにこういったものを使うとか、あと高齢の方とかに対してタグを持ってもらうというところが有効じゃないかというところで高齢者に対してもタグを配る予定をしておりますので、そういったものを、今まででしたらこういったタグがありますよというような保護者に対してのチラシでありましたけれども、今後こういった連れ去りに対してもこういった5箇所とか、県、町境のところにこういうルーターが設置してありますというようなところも含めて、保護者のほうと周知していければ、タグの配布にも繋がるかなと考えますので、チラシのほうでちょっと何か対応できないか、業者と話していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

やっぱりまずは豊能町としての安全なマップっていうところを作っていないと駄目ですよ。

それに基づいて、こういうのが、ここは危険だからここは集中的に反応するようにルーターが設置されてますよとか。そういったものをベースに、色んなところにルーターを

置くんだったらいいんですけど、多分この事業は取りあえず置きましょうから始まってるので、もうやたらめったら置けるところは全部置いてるような感じですよ。

ちょっと聞きたいのはそういったことでこれから新規事業で始めるのは、町外に出るところに置くっていうのはすごくいいことだと思うんですけど、いろいろほかにもそういうところの道っていうのは細かくあるんですけど、ここに置いてる、80箇所を外してそういうところに集中的に置くとか、移動させるとか、そういうことは可能なんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

この80箇所のルーターの設置箇所については固定ではないので、コンセントを抜いて挿して設置はできますので、移動ができる状態にはなっていますので、もしこの箇所のほうもうちょっと手厚くというか、見守りしていかないといけないようなところに、そういった事業所が個人宅にもなるんかもしれないですけども、そういうルーターをコンセントで挿して設置していただけるようなところがあれば、その町から出ていくようなところに重点的になるとか、繁華街とかスーパーとか塾とか、そういったところにも置くようなことはできるかなと思っております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

ぜひとも早急にそういうのを作っていただきたい。それで定期的にここら辺はセンサーが反応するかは確認はされているんですよ。

それで、気になるのは、どこまでカバーしているのかがちょっと見えない。結構、道

路に面した商店であれば、多分そこを通った道路っていうのは子どもの安全でわかるんですけど、これオアシスとかってなると、いやどの道で線反応するのか、オアシス周辺の道全部に反応するとも思えないんですけど、そこら辺は、どうなってるんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

この見守りルーター80箇所がもし異常があったりすると業者のほうに異常データというか、異常の発信していますということで一回見に行ってくださいというような連絡、町に入りますので、そのときに事業所のところにルーターの状況を確認しに行くことがあります。

あと、職員のほうでタグのほう一個、業者からもらっておりますので、それを持って西地区に行くときであるとか、ちょっと出張で行くときとか持って、その途中のルーターが実際に検知しているしてないというような確認はしております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

それでもかなりの経費かけてるものね。

この経費ね、お金かかってるし。はい。

活用してもらわないと。

ほか質問ございますでしょうか。

これは変な言い方ですけど毎年、リース代とかそういうのはないですよ。なかったでしょうね。

はい、お願いします。

山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

事業所のほうとは、毎年維持管理費として30万かかるっていうことは聞いておりますので、このルーターの設置が増えれば、その

分監視する時間かかりますので料金増えるかもしれないんですけども、今のところ、この新しく5台設置する分を含めて、毎年30万の費用でいけるということで聞いております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

これでもしも、子どもさんがちょっと帰って来ないとなかったときに、どこを通ったとかって検索入りますよね。そういうのはまた別の料金になるんですか。

この30万の中に含まれる、ちょっとこのどうなのかなと首傾げるんですが、そこできたらちょっと参考までにお問い合わせいたします。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

特段もし行方不明になった方をどこで検知したかというようなデータを出してもらうときに費用はかかりませんので、タグを持ったときに、無償版であっても有料版であっても、一応、有料版であれば保護者の方がスマホで、どこいつ通ったっていうのも検知がわかりますし、もし無料版使われてたら、町のほうに連絡が入って町のほうで、どこ最終検知したっていうのは、何時にどこの検知を通ったというようなことがわかりますので、それは料金かからず、確認することができます。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

ということはそういう形のシステムのなものがあるのかな、町に。

どうなってんのかな。

はい、お問い合わせいたします。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

このサイトに行って利用してる事業所の専用のところに入って、豊能町の管理者権限のパスワードを入れてそういうのが見れるというようなことになっております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

これシステムとかを更新なりするときに我々こっち側の負担は特にないということではないんですよね。

それとあとルーターも機械ですから、それが維持管理は30万ですけど、例えば壊れましたっていうのが一気に、耐用年数があってそんときになったら一気に80台交換しなければいけませんみたいなことはないという理解でいいですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

今この設置している検知機については大体6年から7年が耐用年数というふうに業者から聞いておまして、それを町の事業としてやっていって入れ替えるのであれば、入替のときには費用が発生するというふうに聞いております。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

そのほかで、スマートシティ事業全体の中で、何か。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

このモビリティ、ハニタスのことなんですけれど、先日、ハニタスに遭遇して、またトヨタモビリティ新大阪の広告が付いているんですが、宝塚で走っていたときは、トヨタモビリティ新大阪が付いていなかったんです。

わざわざ一旦外したのにまた付けたのと、とよのんがまだまだ小っこいんですけども、これは言うていただけなかったんですか。

もう3回ぐらい、特別委員会ではこのことを言っているんですけども、言っていた

けなかったんですか。

○委員長（秋元美智子君）

今の二つあります。

一つはいつまでたってもとよのんが小っちゃい。それともう一つはモビリティ、トヨタモビリティが、なぜか宝塚にはあれが付いてないと。豊能町には付いて、どういうことかなと。

というか、そのことは御存じでした。トヨタモビリティのこと。

はい、副町長お願いします。

○副町長（高木 仁君）

ハニタスを3月から走らせていただいております。

新大阪モビリティのステッカーですか。

そのマークが宝塚のときには付いてなくて、また今回ある。それを付け替えたということはちょっと我々も宝塚のときの状況がよく把握できなかったのもうちょっと申し訳ないですがそこちょっと十分把握できておりませんでした。そのうえでまた改めて阪急バスのほうには確認させていただきますけれども、以前からこのスマートシティ特別委員会でも、ハニタスの車両をどういうふうな経過で購入したのかっていうところで、我々のほうも新大阪モビリティのほうに、阪急バスのほうが協力を依頼してということで申し上げてきておったかと思います。

そこのところの阪急バスと新大阪モビリティとの関係がどういうことなのかということも含めましてちょっとこちらのほうで確認させていただきたいと思います。

あと、とよのんのステッカーですかね、その形質っていうんですか、そこんところは令和5年度と比べても小さいということでしょうか。そこもちょっとまた改めて阪急バスのほうに確認させていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

取った、モビリティ新大阪のステッカーをまた貼り替えるっていう意味がわからないんです。この広告料いただいてらっしゃるのか、自動車買うときにまけてもらったのか。

その辺りはどうですか。

○委員長（秋元美智子君）

高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

そこんところの確認というのは我々もこれスマートシティ特別委員会で以前にもいろいろ御意見、いただいてきたところございまして、それは阪急バスのほうにも確認をしておるんですが、というかC S P F Cのほうにも確認をさせていただいておりますが、そのところが、どういう契約だったのかというところはちょっとこちらでも確認ができないというところで、これまでも申し上げておりまして、また改めて確認のほうはさせていただきますけども、今そういう状況であるというところで御理解いただきたいと思います。

○委員長（秋元美智子君）

それは時間が経てば確認できると受け取っていいですか。

高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

はい。そこのところは我々C S P F Cと委託契約を結びましてC S P F Cにお金のほう払っております。

そっから先ですねそのお金の流れというのが十分わからないというところでこれまでも説明してまいりまして、企業間同士のお話でございますので、我々がどこまでそこに踏み込めるのかというところは、これまでも申し上げておりますように力足らずというんですかね、そこはちょっと企業同士の話ではございますので、いかんともしがたいというところもあるかと思います。

そういったところで御理解いただきたいということでこれまでも御説明してきたところでございます。

C S P F Cからですね阪急バスにどういう経過で800万円ということでお金が出ていったのかということについては確認はできておりませんので、これからまた確認とるということで申し上げておりますけれども、なかなか難しいということで御理解いただきたいと思います。

○委員長（秋元美智子君）

次も同じように特別委員会を開いてまた先に延びていくって、いつまで経ってもそういう状況も困るんで、進めていただきたいと思います。

じゃあ阪急に対しては三つかな。

とよのんがなぜ小っちゃいのかいというのと、もう1個モビリティの広告と、それと購入時の話ね。この3点は確認してください。

もう1点、この購入どっち、阪急のか豊能町のかっていうのは、これ、おおもとのモビリティ、要するにトヨタ売った販売先に確認することは無理なんですか。

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

この間の車両の扱いがどうだったのかということで、宝塚にハニタスが走ったということを契機にですね、我々のほうも、議会のほうから厳しい御意見いただきまして、改めて整理させていただきますということで今阪急バスと協議をしているところでございまして、この件についてはこの間、議会のほうにも御説明をしてきたところでございます。

もともとこの車両どういう扱いであったのかということについてもこのスマートシティ特別委員会のほうでもいろいろ御説明をさせていただいたところでございます。

繰り返しになりますけれどもこれ我々がA I オンデマンドバスを実証運行するということ

ところで、その環境整備をするというところがあって、バスの手配をC S P F Cのほうにお願いしたというところが始まりでございまして、その後、阪急バスのほうが新大阪モビリティのほうにお願いをしてっていうんですね、そこのところからハニタスの車両4台を調達をしたというところまでは確認というかそういう流れであったということを御説明してきたところでございますが、そのときの車両の所有の意思ですね、それが阪急バスなのか豊能町なのかということが十分確認できておらなかったというところが我々反省すべきであったというふうに思っております。

改めて整理をさせていただいて、来年度以降は豊能町のものというところで今協議のほうを進めさせていただいているところでございます。

当初のバスの取扱いについて改めて十分、その調整ができておらずにですね、そのままこの事業を進めておったというところは反省すべきであったというふうに思っております。

今後、来年度以降ですね、ハニタスをどうするのかということも含めまして、改めて、阪急バスと協議が調いまして、調いましてまた改めて議会のほうにも御報告させていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○委員長（秋元美智子君）

ごめんなさい、確認しますが、バスを手配したのは阪急バスですか。C S P F Cから頼まれて。今そういうふうな説明聞こえたんですけども、

○副町長（高木 仁君）

車両のですね、まずC S P F Cのほうに我々は800万円をお支払いして、車両調達してほしいという多分お願いをしておったと。

阪急バスのほうが、それを受けてバスを用意したという流れだと思います。

それを、O S P Fのほうに加入している
新大阪モビリティっていうかトヨタですね、
のほうに阪急バスのほうをお願いして、車両
のほうを用意したと、こういう流れだと思っ
ております。

○委員長（秋元美智子君）

どうしてそれが阪急は自分のものだとい
うふうな話になってしまうのかな。

当然800万は、豊能町の委託料から出てる
し。

はい、お願いします。

○副町長（高木 仁君）

単に車両を購入するということですね、
我々がC S P F Cのほうをお願いするという
ことであれば、その車両は我々のものという
ふうになるんですがこれ委託料で払っており
まして、何を委託しているのかという実証
運行するということを委託しております。
なので、そのところがちょっとバスの単に
購入するということと、性質性格という
んですかね、違うのかなというふうに思っ
ておまして、それで阪急バスのほうも、阪急
バスのほうがそのお金を用意されたそのお金
を利用してですね、新大阪モビリティのほう
からバスを調達したというところがございま
すので、阪急バスとすれば一定それは我々が
調達したじゃないかという認識を持たれてお
ったのかなというふうには思っております。

○委員長（秋元美智子君）

もう1点。当然その保険っていうのは
阪急バスがずっと払ってたってことですね。

豊能町じゃなくて。車両保険。

はい、お願いします。

高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

この間、ハニタス走らしてきているところ
の車検代ですとか保険料というのは阪急の
ほうが負担してきているというところがござ
います。

○委員長（秋元美智子君）

はい、どうぞ。

はい、吉田委員。

○委員（吉田正子君）

お尋ねしますけども、車のあれ、足場は
あとで付けた分はあれは豊能町が出したんで
しょうか、それとも阪急さんが出したんでし
ょうか。

ステップステップ。

○委員長（秋元美智子君）

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

ステップにつきましては、2台が付いて
て2台が付いてないというお話でございまし
て、それを中古車のほうにあと付けしてると
いうところがございます。

それについては、令和4年度にですね、
協議会をつくりまして、それが運行主体とな
って走らしてる、京都タクシーと阪急バスと
豊能町の三者協議会ということでございまし
て。その際に豊能町のほうもそのときに補助
金出してますけれども大阪府のほうからも補
助金を出しておまして、そのお金でバスを
運行しておりました。

そのお金の中でステップっていうのも改
良しているというところでございます。

○委員長（秋元美智子君）

はい、吉田委員。

○委員（吉田正子君）

今修理に当たるときに、正規品じゃなか
ったらなかなかやってもらわれへんねんけど
も、あれはトヨタの正規品でしたでしょうか
お尋ねしたい。

修理に対してもすごく会社も厳しくなっ
ているのでそこら辺のところをちょっとお尋
ねします。

○委員長（秋元美智子君）

浅海理事。

○総務部理事（浅海 毅君）

総務部、浅海でございます。

ステップがですね、正規のものかどうかという、すぐ今ちょっと確認はとれませんが、確かにおっしゃるようになりますね、そういったパーツ類ですね、純正のものであればということもあるんでしょうけれども、ちょっと今そこは、確認ができません。

ただ、もしそうでない場合でもですね、どうしてもやっぱり不具合が起きたときとか、そういう場合があれば、できる限りの手段を使ってですね、修繕のほうはしていく必要があるのかなというふうに考えます。

○委員長（秋元美智子君）

ほかございますか。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

前は阪急バスって書いてあったんですけど今度はちゃんと京都タクシーって書いてあるんですね。12月議会でこれを走らせるときに、緑ナンバーに変えるとあったんですけど、まだ白ナンバーなんです。

兵庫県で走ってたときも、白ナンバーなんですけど、これはこれで正しい運行なんですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、浅海理事。

○総務部理事（浅海 毅君）

総務部、浅海です。

今管野委員、御覧なられてる写真はどの時点でのどこの写真か。

ちょっと、御教示願います。

○委員長（秋元美智子君）

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

3月7日の1時頃の写真です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

車両今回2台、予備車と走ってる車とあるので、それがもし予備車であれば白ナンバーのままになってるかもしれないんですけども、ちょっとそこはちょっと確認をさせていただきたいと思います。

○委員長（秋元美智子君）

12月議会でナンバーを変えるからって予算が入ってたんですね、青ナンバーに。

でも実際、今管野委員が言ったのは白ナンバーっていうことで質問したら、2台は青っていうかグリーン、1台は予備は白、可能性があるっていうことでおっしゃったですか。

答弁お願いします。

○総合政策課長（山内 拓君）

はい。総合政策課、山内です。

秋元委員長おっしゃるとおりで、実際に走行しているのが緑ナンバーで、予備車は白ナンバーという可能性がありますので、ちょっとそこは確認をさせていただきたいと思います。

○委員長（秋元美智子君）

はい。

○委員（管野英美子君）

ずっと01ナンバーの車は白ナンバーで、02ナンバーの車走っているのを見たことがありません。

○委員長（秋元美智子君）

3台まで出るってことはちょっとどうかなっていうこと。

はい、浅海理事。

○総務部理事（浅海 毅君）

総務部、浅海です。

今管野委員おっしゃられてたようにですね、ちょっと私も初日、運行したときにですね、そんときにちょっと確認をしております。

その中では確かに白ナンバーで、今ちょっと私も見ておりますので、ちょっとそこはもう一度確認をさせていただきたいと思いま

す。

○委員長（秋元美智子君）

これは早急をお願いします。

はい、山内課長。

○総合政策課長（山内 拓君）

総合政策課、山内です。

ちょっと今担当確認していただきまして、1号車のほう、見た目は白ナンバーで多分枠が緑枠をされてると思うんですけども、それが緑ナンバーの今の万博専用のなんかナンバーみたいで、そういったところでちょっと白に見えてるのかもしれません。

以上です。

○委員長（秋元美智子君）

はい、永並議長。

○議長（永並 啓君）

ちょっとどうなってんのかな。いや、予算を上げました、こうしますって発言しました、それを使ってやります、確認はすぐに明確にそれは言えないと駄目なんです。

建設でも何か工事をしました、建設はお金がかかるし、目に見えるから安全もあるから、細かく何段階も分かれてやりますよね。

何でこんな状況になる。もうそれはもう本当にやる気がないからしょうがないのかももしれないけど、誰もやりたいと思っていないからね。しょうがないのかももしれないけどせめて一応予算取りをしてこういうふうに説明、答弁をしたものに関しては、それがちゃんとできてるか。それがちゃんと説明したとおりになっているかというのはチェックをしてやらないと、それでここでした時はそうなりますって断言できるような形でないと、駄目ですよそれは。

○委員長（秋元美智子君）

はい、お願いします。

確認しますけど、緑ナンバーってぴったり緑じゃなくて周りのふちが緑で緑ナンバーというふうな変わったんですか。

そういうことをおっしゃってるのかな。

はい、浅海理事。

○総務部理事（浅海 毅君）

総務部、浅海です。

大変失礼いたしました。

この緑ナンバーですけれども、大阪・関西万博のこの特別仕様のナンバープレートということで、事業用の登録者ということで、中は白と万博のこの赤もあしらわれてるんですけども、そのふちのところが緑ということで、その分が事業用の登録者ということでの緑ナンバーということでございます。

大変失礼いたしました。

○委員長（秋元美智子君）

はい、わかりました。

ほか質問ございますでしょうか。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

阪急バスと書いてあったのに京都タクシーと書き換えているんですよね。

今後もうこういう形で走らせようとしているんですか。

また、阪急バスが走るときは書き換えるということですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、答弁をお願いします。

はい、浅海理事。

○総務部理事（浅海 毅君）

総務部、浅海です。

今回はですね、運行につきましては、阪急バスではなくて京都タクシーのみの運行ということでその表記については京都タクシーという表記に変えているということでございます。

今後につきましてはどのような形ですかというのは全く未定でございますけれども、今回はそのような表記にしたということでございます。

○委員長（秋元美智子君）

はい、ほかございますか。

よろしいですか。

はい、管野委員。

○委員（管野英美子君）

全体のお金のことなんですけれど、今住民訴訟で7月3日に判決が出るということを漏れ伺いましたが、この後のスケジュールっていうんですか私の一般質問の中では、K P Iの検証終わってから、どうするかっていう答弁いただきましたけれど、その予定でよろしいですか。

○委員長（秋元美智子君）

はい、高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

今、住民の皆様から訴えられております住民訴訟につきましては、先週第5回の口頭弁論が終わりました。

その際には、期間とかで却下ってできないのかというところ我々の代理人のほうで申しております、その判断について一定、次回にお示しされるのかなというところがございます。

その判断でもしそのまま却下すべきではないだろうということであれば、そっから本案審理が訴訟の中の本当の中身について、裁判所のほうでいろいろ判断されていくということになっているものでございます。

もう一方のほうで我々気にしておりますのが、企業版ふるさと納税が入ってきてないという部分がございます。

この件についてはまた別に、我々のほうで今検討させていただいてるところでございます。

○委員長（秋元美智子君）

議会からもお願いしていることですので、よろしくお願いします。

ほかございますでしょうか。

なければ、委員会を閉じたいと思いますが、よろしいですか。

はい。行政の方には、さっきお願いしました、表のあとの今後のことと、それから、阪急に対するとよのんの大きさとかね、それからトヨタモビリティの看板、看板っていうのかな、シールはなぜ宝塚ではなかったのかとか、ちょっとそういったことも調べていただくことで、次回、その答えを持っていただきますようお願いいたします。

また委員会を開いて返事をいただきたいと思います。

よろしいですか、それで。

はい、お願いします。

行政のお答え次第で、委員会はいつ開くかが決まりますので、お願いいたします。

では、これをもって閉会したいと思います。が、異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（秋元美智子君）

はい、異議なしと認めます。

よって本委員会を閉会することに決定いたしました。

これをもって第9回スマートシティ特別委員会を閉会いたします。

本日はお忙しいところありがとうございました。

お世話さまでした。

午前10時50分 開会

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

令和 年 月 日署名

豊能町議会 スマートシティ特別委員会

委員長